

令和 6 年度の農業信用保証保険業務の概況

令和 7 年 2 月 1 9 日

独立行政法人農林漁業信用基金

1. 保険引受（総論）

- 令和6年度の保証保険の保険引受額は11月末時点で2,298億円となり、対前年同期比▲51億円とやや減少（97.8%）した。
- 資金別にみると、農業運転資金が対前年同期比32億円減少（95.2%）したものの、農業施設資金が対前年同期比62億円増加（109.5%）と好調であり、農業資金全体では対前年同期比28億円増加（101.6%）したほか、農業者の生活資金である農家生活改善資金が対前年同期比3億円増加（102.9%）するなど、多くの資金が対前年同期比で増加した一方で、農業者向けの農家住宅資金が太宗を占める農家経済安定施設資金が対前年同期比▲83億円と大幅に減少（83.5%）している。
- なお、公庫の農業融資については、セーフティネット資金を除くと、令和3年度をピークに減少傾向にある。

保険引受の状況

（単位：億円、%）

区分	R元	R2	R3	R4	R5	R5.11	R6.11	(対前年同期比)
農業資金	農業経営改善資金	832	725	722	711	669	419	100.5
	農業経営維持資金	27	28	17	31	8	2	36.3
	農業施設資金	1,246	1,210	1,077	1,052	1,026	717	109.5
	農業運転資金	867	971	926	1,004	961	638	95.2
計	2,971	2,934	2,743	2,798	2,664	1,748	1,776	101.6
農家経済安定施設資金	1,023	828	917	875	726	501	418	83.5
農家生活改善資金	186	165	142	137	158	100	103	102.9
保証保険計	4,180	3,927	3,802	3,810	3,548	2,349	2,298	97.8
融資保険計	11	5	-	5	7	0	5	-
合計	4,192	3,932	3,802	3,815	3,555	2,349	2,303	98.0

1-1 参照

1-2 参照

1-3 参照

1-4 参照

（信用基金データより）

458億円減少
（対前年度比79.1%）

注1：農業経営改善資金とは、近代化、農業改良、青年等就農、公庫転貸、スーパーSの各資金をいう。

注2：農業経営維持資金とは、畜特、負担軽減、家畜疾病、畜産経営体質強化支援及び危機対応の各資金をいう。（以下同様）

（参考）（株）日本政策金融公庫農林水産事業の融資実績

（単位：百万円、%）

	令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和5年11月		令和6年11月		
	件数	金額	件数	金額	対前年度比	件数	金額	対前年度比	件数	金額	対前年度比	件数	金額	対前年度比	件数	金額	件数	金額	対前年同期比
農業	13,920	378,141	20,751	519,736	137.4	15,530	408,418	78.6	18,003	466,912	114.3	15,555	380,127	93.1	7,697	219,127	6,287	173,289	79.1
うちセーフティネット資金	829	14,004	8,144	174,739	1247.8	3,617	35,548	20.3	5,955	140,205	394.4	4,030	71,448	201.0	1,661	41,969	629	15,865	37.8

注1：速報値

注2：単位未満は四捨五入

（株）日本政策金融公庫農林水産事業融資実績等を基に信用基金作成）

1-1 農業経営改善資金

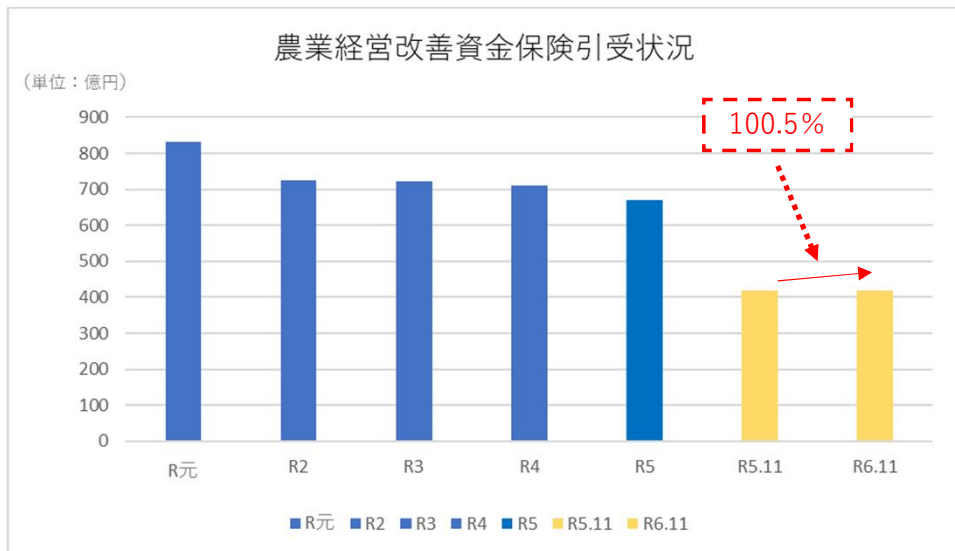
- 農業経営改善資金については、令和5年度は対前年度比94.1%と減少しており、令和6年11月末時点についても、対前年同期比100.5%とほぼ横ばいで推移している。
- 資金別に見ると、公庫転貸資金が毎年減少傾向にある中、農業近代化資金が対前年同期比105.6%と前年を5%程度上回っている。これは、農業用施設や農機具等の資金使途に対する引受けが増加していることが影響している。

農業経営改善資金保険引受状況

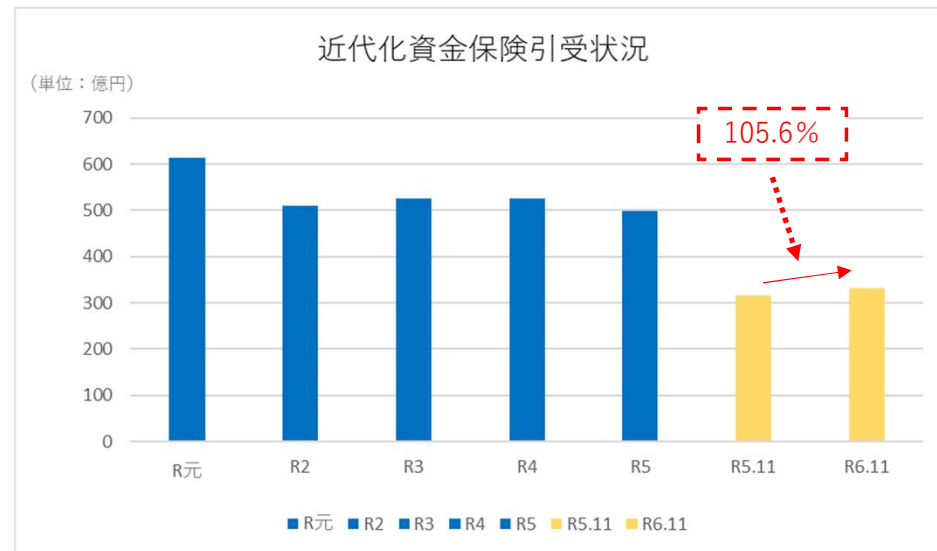
(単位：億円、%)

	R元	R2	R3	R4	R5	R5.11	R6.11	(対前年同期比)
農業経営改善資金	832	725	722	711	669	417	419	100.5
うち近代化資金	614	510	525	525	499	315	333	105.6
(うち構築物・農機具)	432	353	370	376	366	228	246	107.6
うち公庫資金	136	99	100	98	68	46	36	79.3

(信用基金データより)



(信用基金データより)

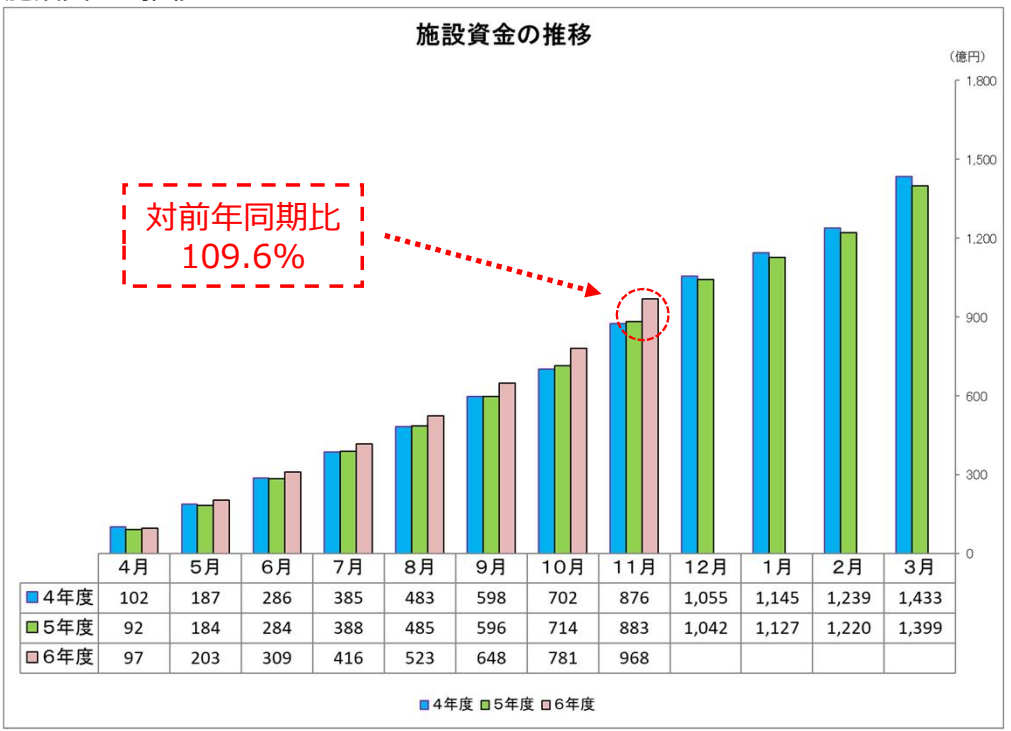


(信用基金データより)

1-2 農業施設資金の動向

- 施設資金（注1）については、ここ数年は引受実績が減少傾向にあり、令和5年度の引受けは対前年度比97.5%であったが、令和6年11月末時点では、対前年同期比109.6%と増加に転じている。
- これについて、日本政策金融公庫の農業景況調査（令和6年7月調査）をみると、設備投資予定ありと回答した農業者は、農業全体では令和6年度は53.2%となるなど、ほぼすべての業種で令和5年度を上回っており、前向きな投資意欲が回復してきたことがその背景にあると推察される。

施設資金の推移



(信用基金データより)

注1：施設資金は、近代化資金（施設資金）、保険料率区分の農業施設資金（プロパー資金）の合計の引受額である。
 注2：金額は、各年度の累積である。

設備投資予定ありの比率の推移

(単位：%)

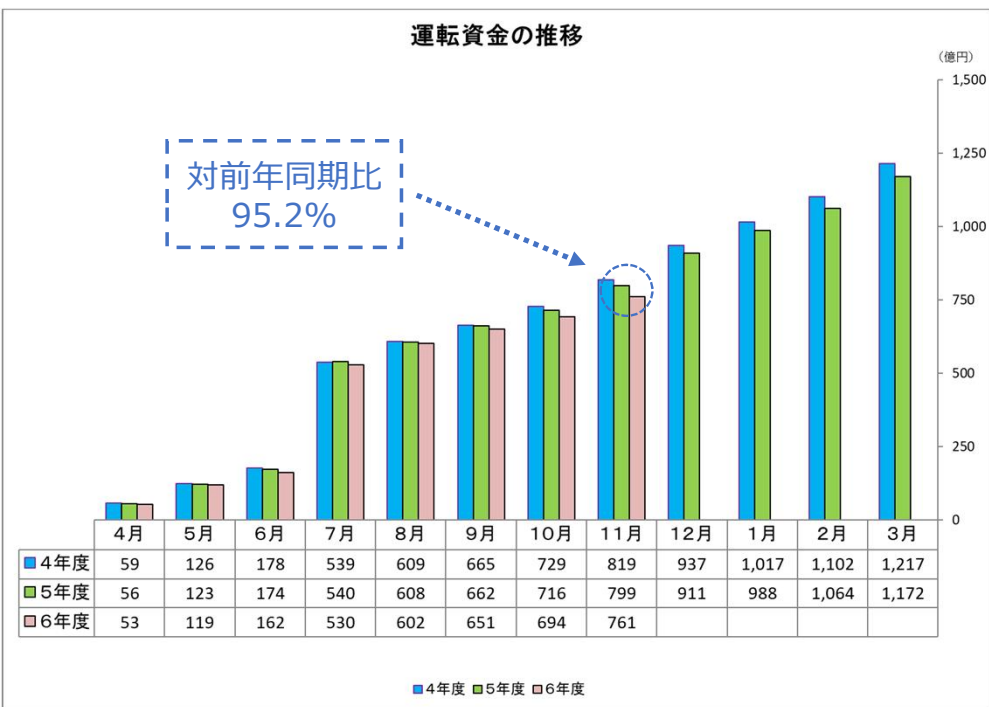
	R4年	R5年	R6年
農業全体	51.9	52.8	53.2
酪農（北海道）	36.9	33.5	40.7
酪農（都府県）	42.9	42.8	47.8
肉用牛	48.5	38.1	40.4
養豚	48.1	59.0	55.1
稲作（北海道）	54.7	51.5	54.8
稲作（都府県）	56.9	60.0	62.1
施設野菜	45.5	52.1	52.0

(日本政策金融公庫の農業景況調査（令和4年7月～令和6年7月）を基に信用基金作成)

1-3 農業運転資金の動向

- 運転資金（注1）については、令和5年度は対前年度比96.2%と前年を下回っており、令和6年11月末時点においても対前年同期比95.2%と減少傾向が続いている。
- 公庫のセーフティネット資金については、対前年同期比▲261億円と大きく減少（37.8%）しており、肥料及び飼料等の価格高騰に伴う一時的な減収等に伴う資金繰りニーズは、解消されつつあると思われる。

運転資金の推移



(信用基金データより)

注1：運転資金は、近代化資金（運転資金）、農業経営改善促進資金、保険料率区分の農業運転資金（プロパー資金）の合計の引受額である。
 2：金額は、各年度の累積である。

(参考) (株)日本政策金融公庫農林水産事業の融資実績

(単位：百万円、%)

	令和5年11月		令和6年11月		対前年同期比
	件数	金額	件数	金額	
農業	7,697	219,127	6,287	173,289	79.1
うちセーフティネット資金	1,661	41,969	629	15,865	37.8

注1：速報値
 2：単位未満は四捨五入
 ((株)日本政策金融公庫農林水産事業融資実績等を基に信用基金作成)

1-4 農家経済安定施設資金

- 農家経済安定施設資金については、当該資金の大宗を占める農業者向けの農家住宅資金の減少及び賃貸住宅・賃貸施設資金の減少の影響により、令和5年度は対前年度比83.0%と大幅に減少しており、令和6年11月末時点においても、対前年同期比83.5%と引き続き減少傾向が続いている。
- また、非農業者に対する全国農協保証センターの再保証引受のうち住宅資金についても、保険引受と同様に、令和5年度は対前年度比89.8%、令和6年10月末時点においても対前年同期比96.6%と減少が続いている。
- 新規住宅着工については、高齢化や人口減少といった構造的要因のほか、建築工事費が上昇し続けていることを受け、令和6年11月末時点で対前年同期比98.5%と減少していることが、資金需要減少の背景と考えられる。

農家経済安定施設資金の引受実績

(単位：百万円、%)

	R1	R2	R3	R4	R5	R5.11	R6.11	(対前年同期比)
農家経済安定施設資金	102,272	82,845	91,719	87,468	72,560	50,110	41,819	83.5
うち農家住宅資金	96,136	77,960	83,985	81,011	67,418	47,026	39,962	85.0
うち賃貸住宅・賃貸施設資金	6,136	4,139	6,954	6,023	4,917	2,939	1,744	59.3

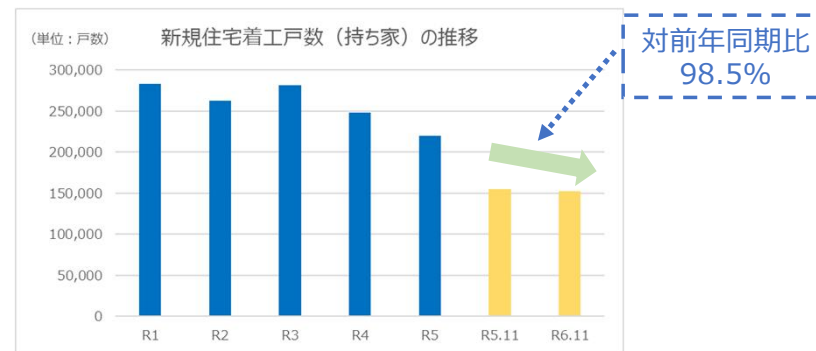
(信用基金データより)

全国農協保証センター新規再保証引受状況

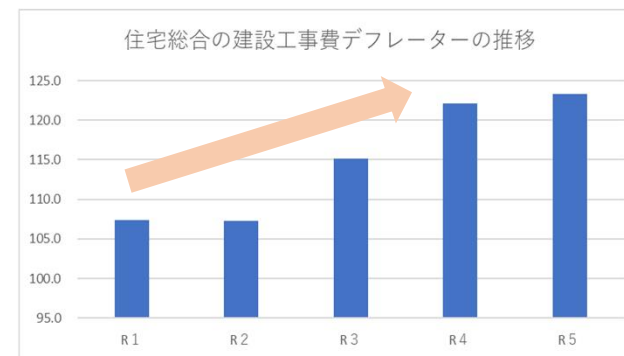
(単位：百万円、%)

	R1	R2	R3	R4	R5	R5.10	R6.10	(対前年同期比)
新規再保証引受合計	699,866	786,561	875,793	784,428	728,721	431,044	425,197	98.6
うち住宅資金	616,613	710,054	806,318	714,659	641,843	383,596	370,705	96.6

(全国農協保証センターデータより)



(建築着工統計調査（国土交通省）を基に信用基金作成)



(建築工事費デフレーター（2015年度基準）（国土交通省）を基に信用基金作成)

2. 保険金支払

- 保証保険の保険金支払については、近年減少傾向にあったが、令和5年度に対前年度比で9億円の増加（対前年度比151.2%）に転じて以降、令和6年11月末時点においても対前年同期比118.1%と増加傾向が続いている。
- 事故原因別にみると、「生産資材価格高騰」が増加していることに加え、「経営上の負債過多」を理由とした支払が引き続き高水準で推移している。これらの要因としては、肥料や飼料等の資材価格が高水準を維持していることが影響していると考えられる。

保険金支払の状況

(単位：百万円、%)

	R元	R2	R3	R4	R5	R5.11	R6.11	(対前年同期比)
保証保険計	2,464	2,001	1,934	1,761	2,663	1,597	1,886	118.1
融資保険計	-	-	-	-	44	44	-	-
合計	2,464	2,001	1,934	1,761	2,706	1,640	1,886	115.0

(信用基金データより)

大口保険支払事前協議案件数の状況

	案件数
R3	2件
R4	7件
R5	9件
R5.11	7件
R6.11	11件

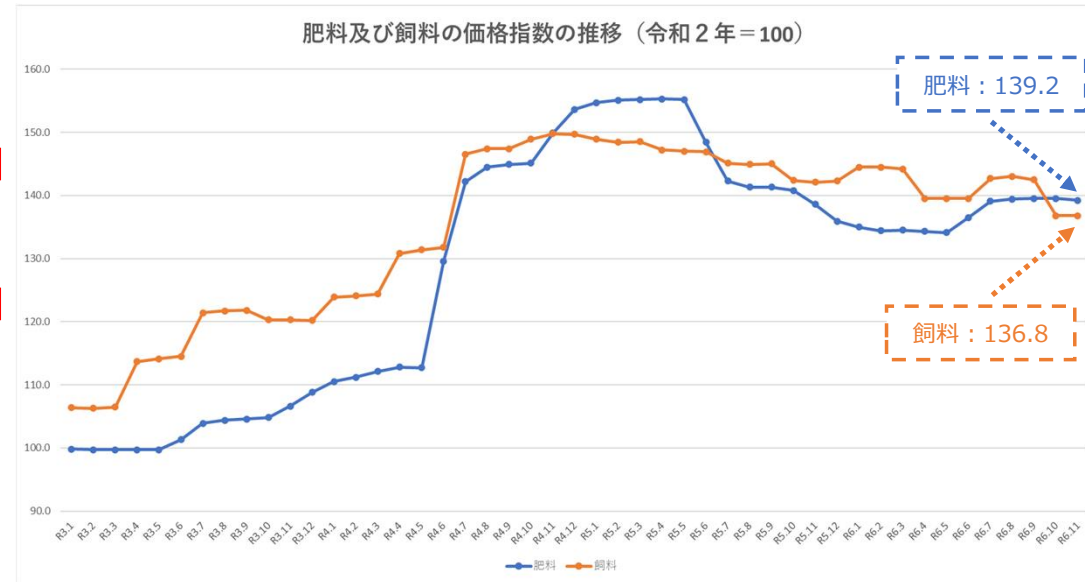
(信用基金データより)

事故原因別保険金支払状況の推移

(金額単位：千円、%)

事故原因	令和5年11月保険金支払		令和6年11月保険金支払		金額増減
	金額	割合	金額	割合	
管理不足	281,676	17.2	295,133	15.6	13,457
技術不足	79,413	4.8	154,560	8.2	75,147
経営上の負債過多	518,055	31.6	556,573	29.5	38,518
生活上の負債過多	12,874	0.8	96,560	5.1	83,686
資金蓄積不足	14,259	0.9	16,915	0.9	2,656
生産物（製品）価格暴落	2,776	0.2	44,118	2.3	41,342
生産資材価格高騰	112,669	6.9	168,627	8.9	55,958
本人の死亡・病気	149,361	9.1	255,977	13.6	106,616
家族の死亡・病気	47,828	2.9	44,967	2.4	△ 2,861
災害	29,236	1.8	73,128	3.9	43,892
他人の保証倒れ	0	0.0	1,583	0.1	1,583
兼業の不振	21,449	1.3	37,136	2.0	15,687
失業	12,569	0.8	35,805	1.9	23,236
その他	358,320	21.8	105,103	5.6	△ 253,217
計	1,640,484	100.0	1,886,185	100.0	245,701

(信用基金データより)



(農業生産資材類別価格指数（農林水産省）を基に信用基金作成) 6

3. 回収金

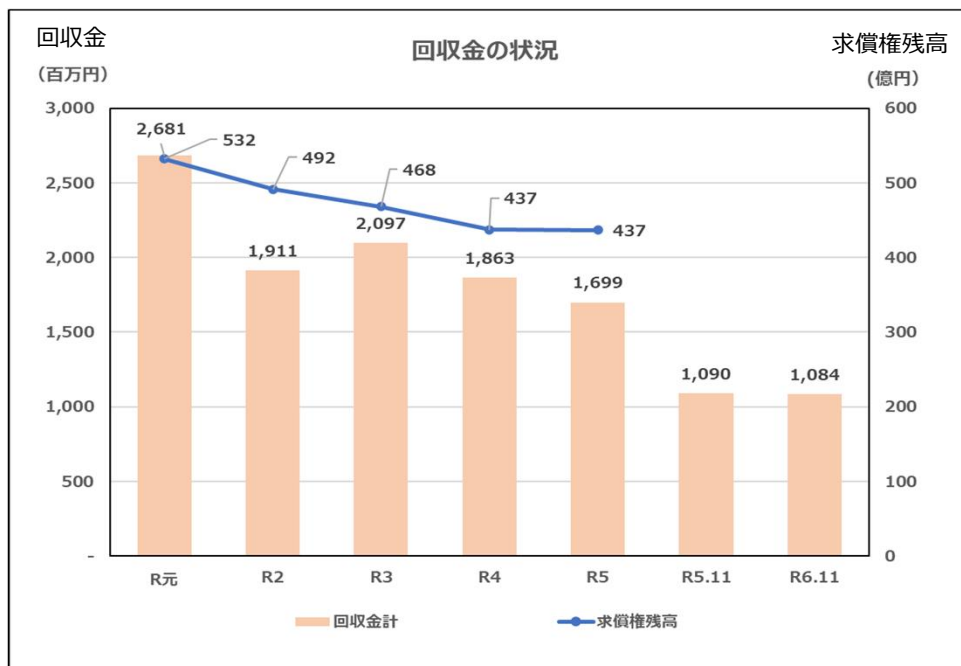
- 回収金については、令和5年度は17億円（対前年度比91.2%）と減少したが、令和6年11月末時点では10億円と前年同期と概ね同水準（99.4%）となっている。
- 回収金は案件ごとの事情によって年度ごとに増減する性格のものではあるが、近年は保険金支払案件が少なく、回収対象となる求償権残高そのものの減少傾向が続いていることから、今後も大きな増加は見込まれないと考えられる。

回収金の状況

（単位：百万円、%）

区分	R元	R2	R3	R4	R5	R5.11	R6.11	(対前年同期比)
保証保険計	2,681	1,911	2,063	1,863	1,699	1,090	1,084	99.4
融資保険計	0	0	34	-	0	0	-	-
合計	2,681	1,911	2,097	1,863	1,699	1,090	1,084	99.4

（信用基金データより）



求償権残高については、令和元年度末と令和5年度末を比較すると18.0%減少。

（信用基金データより）